

やさしいにおいのするまち 津野町

【移住・定住相談窓口】

☎ 0889-55-2311

✉ machi@town.kochi-tsuno.lg.jp

津野町役場まちづくり推進課
〒785-0201 高知県高岡郡津野町永野471-1

津野町





- 6-7P 津野町の歴史・特産品
- 8-9P 地域の会いたくなる人・移住者の紹介（新荘川エリア）
- 10-11P 地域の会いたくなる人・移住者の紹介（四万十川エリア）
- 12-13P 支援制度の紹介（子育て支援・移住支援）
- 14-15P 津野町の概要・アクセス

森林が約90%を占め、日本三大カルストの一つ「四国カルスト天狗高原」や、全長196kmと四国一の長さを誇る日本最後の清流「四万十川の源流点」がある、大自然に恵まれたまち津野町。

そんな自然豊かなまちで暮らす人々は穏やかで温かく、住んでいる地域に愛着を持っている。

大自然と温かい人々が調和し、なんだかやさしいにおいを感じることができる津野町は、移住先としてオススメのまち。



秋



歴史



津野山古式神楽 - 受け継がれる千年の舞 -

「土佐の神楽」の一つとして国の重要無形民俗文化財に指定されている。五穀豊穡、無病息災を祈願して秋祭りに氏子によって神社に奉納されている。秋祭りの際、17通りの演目を約8時間かけて舞い納める「通し神楽」と、地域ごとに奉納される神楽がある。戦時中에서도絶えることなく奉納され継承されてきた大切な無形文化財です。



特産品



つの茶 - 山間の霧の中で生まれる隠れた銘茶 -

四万十川源流域の山間の斜面に張り付くように広がる茶畑。適度に日光が当たり、日中の寒暖差が大きいため霧が発生しやすく、良質なお茶が育つ条件が整っています。土佐藩主に献上された記録が残る土佐の三大銘茶の一つとして隠れた銘茶の産地。津野町のお茶は、旨味と甘み、苦みのバランスが絶妙！一般的な煎茶をはじめ、緑茶を焙煎したほうじ茶、釜で炒った茶葉を天日干しにした釜炒り茶、さっぱりとした風味で水出しにオススメの親子茶など、様々な種類のお茶が作られています。



花取り踊り

- 勇壮な踊りの伝説が残る -

地域の子どもから青年たちが、美しく飾った山鳥の「かしら」や色花模様の衣装を身につけ、太刀や太鼓を持ち勇壮に踊る。姫野々三島神社や船戸河内五社神社の秋の神祭で神前に奉納される。



片岡直輝・直温生家 - 関西財界の重鎮。片岡兄弟の生家 -

大阪ガスの初代社長を務めた片岡直輝と、日本生命の創業に携わり大蔵大臣も務めた片岡直温の兄弟が母のために生家を再建した邸宅。江戸時代の間取りそのままに改修し、日本庭園が美しい。



直販に並ぶ津野町の恵み

- 春 イタドリ、新茶、たけのこ
- 夏 きゅうり、トマト、米ナス、ミョウガ、土佐甘とう
- 秋 里いも、生姜、キウイ、しいたけ
- 冬 白菜、ほうれん草、かぶ、文旦

移住の目的は地方で勝負!!



移住者

蛭田 彩人(ひるた あやと)さん | ターン・神奈川県

2020年4月から地域おこし協力隊として森の巣箱を拠点に活動中。津野町は"人の良さ"がピカイチ。何か新しい事をやりたい、田舎で子育てがしたい、という方にも地域の見守りがあって安心。自分で事業を作りたい!と目標のある移住希望者にとってはたくさんのチャンスがあるのでオススメ!

職業はフリーランス「のぼちゃん」



地域人

農村交流施設 森の巣箱 大崎 登(おおさき のぼる)さん

津野町はまちづくりの取り組みが活発。3カ所の集落活動センターをはじめ、様々な地域で地域団体が活動していて、活発で元気な人が多いのが魅力!なにより人との繋がりを大事にしています。遊休地や耕作放棄地を活用して何かチャレンジしてみたい人ウエルカム!

新荘川エリア

スーパーやコンビニ、薬局などがあり買い物にも便利なエリア。近隣の市町にもアクセスしやすく、通勤・通学にも最適。

自然の中でおもいきり遊ぶ
我が子を見るのが楽しい!



移住者

久保浦(くぼうら)さんご家族 | ターン・高知市

2022年8月に津野町暮らしをスタートした久保浦さんご家族。奥さんの沙由梨(さゆり)さんが、「子どもには一から育てたものを食べてもらいたい」と考えるようになったのをきっかけに、旦那さんの隆太(りゅうた)さんが縁のある津野町で、「住む家と家庭菜園ができる畑」探しを始めた。ちょうど探し始めたタイミングで移住定住促進住宅の入居募集があり、近所の方のご厚意で野菜作りができる畑も紹介してもらえた。入居も決まり、思いはすぐに実現。5歳になる歓英(かんえい)くんは、こども園や新しい環境にもすぐにとけこみ、遊び場は自然の中。「水もキレイで人も良い。ここに来てなにより良かったのは、子どもがこの環境を気に入っていることですね。」と話す沙由梨さん。隆太さんは高知市内で美容師として働いていて「通勤時間は長くなったけど、通勤が苦になることはありません。移住=車も必須で大変、というイメージをもつと思いますが、意外と楽しいですよ。」と話してくれました。移住から一か月ほどで、新しい生活にすっかり馴染んでいる様子です。



いつも笑顔でおもてなし



地域人

維新の魁 虎太郎社中 豊田 坂江 (とよだ さかえ) さん

この辺りは夜になると真っ暗。だからこそ星がキレイに見える。虫の音が聞こえたり・・・そんな自然の音と景色に心が落ち着く。この自然と伝統を、ここに住む人が大事に残してきたことがなにより魅力です。嬉しいことも悲しいことも心をオープンに話し合える、素直に接してくれる人、待っています。

SNSで見た四国カルストの写真に一目惚れ



移住者

嶋 祐也 (しま ゆうや) さん | ターン・千葉県

令和元年5月に津野町地域おこし協力隊として着任した祐也さん。趣味のキャンプで燻製を作ってみたことがきっかけで、「燻製のお店を持ちたい」という夢を抱き始め、インターネットで調べていく中で、地域おこし協力隊から燻製屋になった、という人が目に留まった。ここで初めて協力隊の制度を知り、即行動に。数ある募集の中から津野町を選んだのは、SNS で見つけた一枚の写真に魅かれたこと。それは、日本三大カルストのひとつ、「四国カルスト」。ちょうど「四国カルストのまち津野町」というキャッチコピーで地域おこし協力隊を募集していて、迷いなく決断。3年間の任期中は町の観光業務を行いながら、燻製商品の開発、工房探しと準備を進め、協力隊卒業と同時に燻製屋をオープンさせた。「地域の人の支えがあってここまでできた。四国カルストにより近い場所でお店をもちたい!という夢を叶えるきっかけになったのはここに住む「人」のおかげです。」移住を考えている方へ。自分のやりたいことを明確にして、それを周りに発信していくことが大事。そして一番は地域の「人」と繋がることです。

四万十川エリア

冬には積雪があり、四季折々の山里の暮らしを楽しむことのできるエリア。スーパーやコンビニがあり、日常生活に必要なものは揃う。

地域の人との付き合いも安心な暮らしのひとつ



移住者

笹川 (ささかわ) さんご家族 Uターン・徳島県

北海道出身の聖司 (せいじ) さんと津野町出身の里沙 (りさ) さん。海外で出会い一度はそれぞれの地元に戻ったが、聖司さんが徳島県へ移り住むタイミングで里沙さんも聖司さんの元へ。結婚後、長女の純蓮 (すみれ) ちゃんが生まれ、約6年間の徳島生活の後、里沙さんは、次女の桃嘉 (ももか) ちゃんの出産を機に親元へUターン。2022年4月からは家族4人揃い、移住定住促進住宅へ入居しました。以前生活していた徳島県三好市と津野町は地域活動への参加や人との関わりが深いことなど、環境が似ていると言い、「新しい暮らしにもあまり抵抗はなく、近くに実家がある安心感もあって居心地も良いですよ。」とお二人が声を揃える。「子育てに関する情報が多かったり、学校や図書館で、親子はもちろん地域の人も交えたイベントに参加できるので楽しい。」と、魅力を話してくれた里沙さん。「今後は自分のもつ資格を活かしてお店をもてたらいいな。」と定住に向けて夢を語ってくれました。

四万十川のことならオレに聞け!



地域人

(有) 谷脇工業 谷脇 幸秀 (たにわき ゆきひで) さん

山や川が四季それぞれで違う顔を見せる。他では味わえないこの自然は小さい子どもの遊び場にも最適。町内どこに住んでもインターネット環境が整っているのは、単身の方や働き世代、テレワークの方にも魅力ポイント。移住の理由は人それぞれだと思うが、理想だけでなく、まずは実際に来て、この山里の暮らしぶりや生活環境を見て肌で感じてほしい!



＼ピックアップ／ 移住・定住支援制度



「若者の住宅取得を応援！」

若者定住促進住宅取得奨励金

45歳以下の方が、町内に定住する目的で新築若しくは親との同居目的で増築した方に奨励金を交付しています。

なんと新築の場合は100万円！



「快適な田舎暮らしを応援！」

移住・定住促進住宅

町が所有者から空き家を借り上げ、水回り等を改修し、移住者に賃貸する制度です。生活には欠かさない、キッチンやトイレ、お風呂が新しくなった家に、安価な家賃で入居できます！



＼ピックアップ／ 子育て支援制度



「あなたの子育てを応援します！」

子育て応援金

子どもを出産した方または保護者の方や、小中学校に入学する子を養育する保護者の方に応援金を支給しています。

出産時

第1子 ……………5万円
第2子 ……………10万円
第3子以降 ……30万円

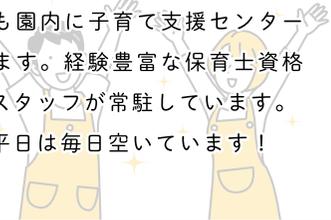
小中学入学時

3万円

「子育てに関するお悩み相談はココ！」

子育て支援センターを開設

子育て親子の交流の場、お悩み相談の場として町内こども園内に子育て支援センターを開設しています。経験豊富な保育士資格を持った専門スタッフが常駐しています。利用料無料！平日は毎日空いています！



「生まれた時から高校卒業まで医療費がずーっとかからない！」

乳幼児・子ども医療費助成事業

町内に住所を有する0歳から18歳に達する日以降における最初の3月末日までに該当の方が医療を受けるとき、医療費の自己負担分を津野町が全額助成します。



「安心して子どもを預けられる場所」

認定こども園の保育料減免

0～2歳児の保育料を国の基準額の半額に設定！さらに、

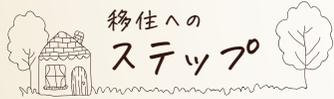
- ・第1子が18歳未満の場合で、入園する第2子がいる家庭は更に**保育料半額**
- ・第1子が18歳未満の場合で、入園する第3子以降は**保育料無料**！



「子どもたちの進学を応援！」

津野町高等学校等通学費等助成事業

高等学校等に通学する生徒に係る経済的な負担及び子育て環境の整備を図ることを目的として、通学費等に要する経費の一部を助成しています。通学に係る公共交通機関の定期代だけでなく、通学用バイクの購入費や寮費・下宿代も助成の対象となります。



1

移住について考える

まずは家族に相談してみる。移住後の理想の暮らしをイメージする。

2

情報を集める

移住相談会やフェアに参加してみる。インターネットで気軽に情報収集。候補地が決まれば、移住相談窓口へ相談！

3

現地に訪れてみる

気軽に訪れるもよし、移住体験ツアー等でがっつり移住体験もよし！

4

仕事と住まいを探す

住まいや仕事についてまずは移住相談窓口へ相談。

5

移住実現

困ったことは移住相談窓口や地域の移住サポーターへ相談

＼私たちに気軽にご相談ください！



相談窓口：☎0889-55-2311(津野町役場まちづくり推進課)

移住や定住を考えるみなさまに、津野町の魅力を感じてもらい、ライフスタイルに沿った情報の提供、そして、希望の移住地を見つけるお手伝いをします。

マップ



町の基本情報

人口	5,291人 (令和2年国勢調査)	年間降水量	3,300mm
面積	197.85km ²	学校	認定こども園: 2ヶ所 小学校: 3ヶ所 中学校: 3ヶ所
平均気温	13~15℃	病院	3ヶ所

町の行事

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
(天狗高原) 雪遊びシーズン	魔除けの大わらじ 堂の口開け	お伊勢踊り 龍馬と歩こう脱藩の道		ふれあい特産市	北山林道駆け足大会		お洗濯様 津野町夏まつり	八幡まつり	三島神社秋の大祭 町民運動会	津野山古式神楽 産業祭	

本州からのアクセス

